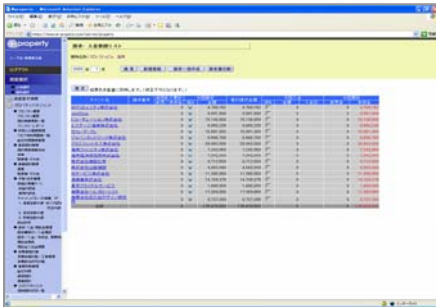


[バンキング自動消込み]

銀行口座の振込入金データを利用し、入金消込みを自動で行います。
複数建物の入金処理を一括して行うことができ、業務の効率化が図れます。入金日、入金額の誤入力や入金処理漏れを防ぐことができます。

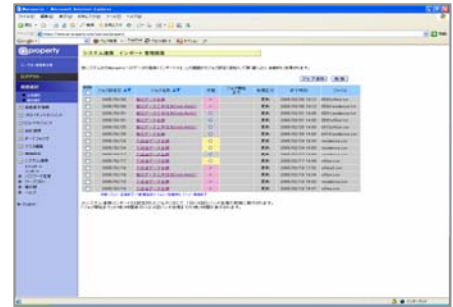
■ 概要

STEP1. 請求情報の作成



@propertyの標準機能「プロパティマネジメントパッケージ請求入金」を利用して請求情報を作成します。
賃料や共益費は契約情報から自動的に生成されます。

STEP2. 銀行入金データの取得／インポート

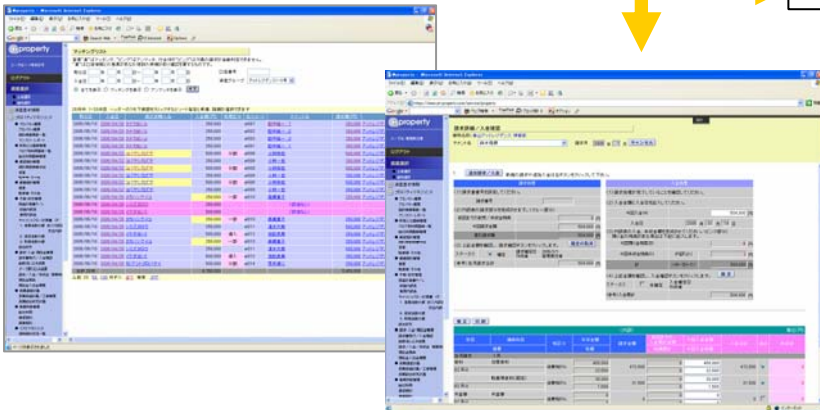


各銀行のサービスにより銀行入金データを取得し、@propertyにインポートします。

自動消込み

請求情報と銀行入金データのマッチングを行い、入金処理を実行します。

STEP3. 請求情報との突合(自動消込み)結果を確認



メールにて処理結果を通知します。

入金単位でマッチング結果が確認できます。
不一致(アンマッチ)部分は、マッチング候補検索画面で容易に手動マッチングできます。

確定後、決算書(P/L、CF)に反映します。

◀ マッチング候補画面

■ 特徴

- 発生源入力が可能
AM会社／オーナー／本社からだけでなく、PM会社／支店、現地からも利用できます。
- 振込人の特定方法
振込人の特定方法は、振込依頼人名から行う方法(名寄せ)、バーチャル口座の口座番号より行う方法のどちらにも対応しています。混在も可能です。
また、建物毎に入金口座が決まっている場合、その口座で絞り込んで請求情報と突合(自動消込み)することができます。
- 消込み処理オプション
金額不一致(一部入金、超過入金／分割処理)でも消込み処理を行うことが可能です。
- 学習機能の更新
手動でマッチングを行うと、振込依頼人名やバーチャル口座の口座番号等が自動で記録され、次回より自動でマッチングされます。
使い込むほどにマッチング率が向上します。
- 大手都市銀行フォーマットに対応
銀行入金データは、全銀フォーマットの他、大手都市銀行フォーマットにも対応しています。
例)三菱東京UFJ銀行: BizStation みずほ銀行: みずほビジネスWEB 三井住友銀行: パソコンバンクWeb21
- メンテナンス機能
一度処理を確定した消込みについても、処理の取消が可能です。